

## A0003 次年度の取引を入力したい。

### 回答

次年度を作成することで、取引を入力できます。

### 詳細

決算が確定していない場合でも、次年度の会計データを作成し、取引を入力することができます。  
次年度の会計データは、以下の手順で作成できます。

#### 手順

1. ナビゲーションバーの分類[データ]から、[次年度作成]ボタンをクリックします。
2. [次年度作成]ダイアログが表示されるので、[次年度]に次の年度が表示されていることを確認し、[実行]ボタンをクリックします。
3. 新しい年度の会計データが開くので、取引の入力を開始できます。

#### 参考

- 次年度の会計データ作成後に、過去の年度の会計データを開いて修正することもできます。
- 次年度作成を実行すると、以下のデータが次年度データに移行されます。
  - 勘定科目や補助科目に関する情報
  - 貸借対照表の科目の残高
  - 仕訳・摘要・伝票ライブラリに登録された情報
  - 取引先名簿に登録された情報
  - 手形に関する情報
  - 決算書(法人用)の設定内容
  - 消費税申告書の設定内容
  - 固定資産に関する情報
  - 家事関連費の按分設定(個人データを作成しているとき)

#### 関連トピック

このQ&Aで問題が解決しなかったときは、[こちら](#)よりお問い合わせください。